

ナノテクノロジー で エコロジー

エコナノ COAT

エコナノWATER

ミスト・アド

ワックス管理の問題点！

毎回同じ作業を繰り返し、洗浄污水の回収時に床材に污水の一部が浸透し、後の変色の大きな原因になる。
環境汚染を繰り返し、世の中から退場すべき仕事になりつつある。

コーティング管理の問題点！

ワックス管理の負の部分を解消した新たな管理システムの基礎となる商材です。
残念ながら！

現在世に出ているコーティング剤はいずれも一長一短があり、必ずメンテナンスに入ると**補修**という部分で行き詰まります。

コーティング被膜の形成上、全体的にかなりの硬度があり、これが逆に綺麗な部分と、損傷部分の差が生じ激しく目立ちます。

全体補修と部分補修を簡単に出来るシステムがようやく出来上がりました。

メンテナンスにおける補修業務の困難さを、ようやく克服しました。

- いままで定期的に掛けていたワックスがけの時間と費用が！
- エコナノ COATにすればもしかして少なくなるかも？ しかも かなり！
- ただ・・・
4つだけ！ 約束が必要なんです

4つの約束その①

• エコナノ COAT を塗る

(セラミックが成分の床維持剤なので単純計算でワックスの約6倍長持ちします。※ワックスは硬度1～2H エコナノCOATは硬度9H)

注) 塗膜の歩行可能までに1時間、完全硬化までに72時間(3日間)かかり、この間異常なほど滑り抵抗があり科学モップの使用が不可能です。(4日目以降正常)

表面は室温により30分から1時間で凝固するが、浸透した下の部分は凝固時間が

かなりかかる可能性があるので、物の移動はゆっくり静かに行う。(傷がつきやすい)
傷がついた場合でも凝固後の水モップ拭きで傷が見え無くなります。

1時間で歩行可能となり、移動復元も静かに行えば可能になりました。

4つの約束その②

- 定期的に「**エコナノ WATER**」で床を拭きましょう！

（エコナノCOATの材料でもあるセラミックを水に溶かすことに成功しました。それによりエコナノCOATが約75倍に希釈された状態の水を作ることが出来ました。それが「エコナノWATER」です。するとそのエコナノWATERで定期的に床を拭いているだけで、床の汚れを落とすと同時に歩行で磨耗していくエコナノCOATを補充することになるのです。）
“作業中歩行可能”

洗浄とエコナノWATER拭きは区別すること

（エコナノWATERで洗浄はしない）

4つの約束その③

定期的に「**エコナノ WATER**」で床を拭いても
補充が追いつかない時

「**ミスト・アド**」で床を丁寧に拭きましょう

被膜が出来上がります

ワックスの上からは使用不可能です(ワックスを溶かします)

乾燥までに約30分かかります。 **“作業中歩行禁止”**

トイレ、階段、等の小スペースでは、問題なく作業が出来ますが、
大面積を施工する場合は仕上げを綺麗にする為、何回かの小面積での経験が必要です。

乾燥時間が短縮されたため、作業後に不足部の再補修が出来ます。

あくまでも作業は易しくと言う考えで水モップ使用で行きますが、
この時点でも不足を感じたら次に進みます。

4つの約束その④

それでも床に光が無くなってきた部分には・・・
部分塗布をしましょう

溶剤系エコナノCOAT

(光沢100%、強度100%)

水性 エコナノCOAT

(光沢70%、強度120%、油分に強い)

マーケットの惣菜前など油分の使用が多い場所に適している

で部分塗布をしましょう。

この時点でも不足を感じたら全体の再塗布になります。

(再塗布は面積の10%～20%を ローテーション施工し

負担を軽くしながら広げて行きます。)

エコナノCOAT導入方法

しみこむフロアコーティング剤



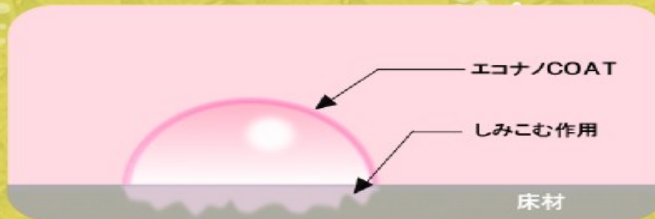
エコナノCOAT

床にしみこんで固まるから、
耐久性バツグンでキレイが長持ち！

床にしみこんで固まるから、
フロアコーティングでも
簡単メンテナンスを実現！

エコナノCOATの「しみこむ作用」が、
今までの不可能を可能にした
新型フロアコーティング剤です！

さらに光触媒機能もついて、
ナノテクノロジーでエコロジーな
フロアコーティング剤を
どうぞ！



コート剤は、万能では無いと言う考えに基いて、導入をして行きます。

初期費用

大事な選択です！

- ① 自社で負担する
- ② 現行ワックス管理の費用範囲内で順次導入して行く
- ③ オーナーと自社で配分する
- ④ オーナーに負担して頂く

最初の導入方法として、的確なゾーニングをする

軽汚染区

殆ど損傷をしない場所、エコナノWATERで簡単に補修できる

中汚染区

ある程度損傷するが、エコナノWATER、ミスト・アド で簡単に補修できる

重汚染区

メンテナンスとして部分補修、部分再塗布をする

エコナノCOAT、エコナノWATERでの管理で目指す方向とは！

汚染度を軽い状態に仕上げて行きながら作業時間の短縮場所を増やし

重汚染の面積を縮小させて行く

エコナノWATERの
メンテナンス

コート剤でできた光沢をあくまで維持するのがエコナノWATERです
歩行等の摩耗によって損傷したセラミックを少しずつ補充します

ミスト・アドの
メンテナンス

エコナノWATERでも復元しない部分や光沢の必要な部分を補修する
光沢度を上げたエコナノWATERつまり ミスト・アドです

溶剤系エコナノ
COATの部分再塗布

直接ワックスの上から施工しないでください、ワックスと反応します

水性エコナノCOAT
の部分再塗布

エコナノWATER、ミスト・アドでも復元しない部分
損傷した部分のみを再塗布します

溶剤系と比較すると塗布作業がやや重く扱いづらい部分がありますが
油分や小傷に強く、境界線が分かりにくく自然に仕上がります

強度は溶剤系より120%有ります、光沢は70%～80%です

溶剤系と同じ光沢を出すには、コート剤の2度塗りが必要です

エコナノCOATのメンテナンス 1

メンテナンスの作業工程(エコナノCOAT塗布後)



中性洗剤による洗浄をする(ポリッシャー、自動床洗浄機他)

コーティング後は簡単に洗浄が出来る

但し食品コーナー等の油分除去には溶剤入りの強力中性洗剤を使用する(ブレイド他)

水拭きまたは濯ぎ洗浄をする(ポリッシャー、自動床洗浄機他)

エコナノWATER拭きで見栄えが整ったら完了です

第1段階終了 ①

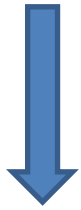
エコナノWATER拭きも数を重ねて行くと 徐々にバージョンアップして行きます。

この段階でも不足を感じたら、次に進みます

エコナノCOATのメンテナンス 2

ミスト・アド

拭き



ミスト・アドで丁寧に拭き上げ見栄えを整えます

ミスト・アドでの作業方法 とは！

あくまでも作業は易しくと言う考えで進めて行きます。

水モップ拭きの延長で横振り縦振りと、丁寧に拭きあげて徐々に被膜を形成してゆきます。

この段階で**エコナノWATER拭き**よりも被膜が形成され段階上の見栄えが形成されます。

ミスト・アドで見栄えが整ったら 完了です。

第2段階終了 ②

この段階でも不足を感じたら次に進みます

エコナノCOATのメンテナンス 3

エコナノWATER ミスト・アド でも損傷等が目立つ場合部分再塗布をします

エコナノCOAT
部分塗布

損傷が目立つ場合、部分塗布をします
作業時間に合わせてまた要求される光沢に合わせて
溶剤系か水性か選択してください

エコナノCOAT
部分塗布

部分塗布で見栄えが整ったら完了です ③

…………… 全体的に消耗が激しく損傷が隠れないと判断した場合再塗布をします ……………

エコナノCOAT
再塗布

再塗布の場合塗布面積は、かなりの範囲を塗布出来ます
塗り伸ばしても強度的な心配はいりません

エコナノCOAT
再塗布

再塗布した時点で完了です ④

溶剤系エコナノCOAT
水性エコナノCOAT

最初から光沢があり、初期施工向き
小傷や油分に強い メンテナンス向き

今後の展望及び可能性

- ・ コート剤の販売のネットワークをつくる
- ・ コート剤の施工のネットワークをつくる
- ・ メンテナンスのネットワークをつくる

ネットワークを共有し、直接顧客までシステムが届くようにする。

今後は何処かの段階で止まっている流れを、つなげるシステムを考える